



報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
代表取締役社長 大野直竹
大阪市北区梅田 3-3-5

**スマートハウスを活用した新発想アプリ開発コンテスト
「家 CON-2015」を開催します**

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大野直竹）は、経済産業省が実施する「大規模 HEMS 情報基盤整備事業」と連携し、スマートハウスを活用した新たなサービス創出に向けたアプリ開発コンテスト「家 CON-2015」の応募受付を、本日、2015年5月18日より開始します。

「家 CON-2015」は、スマートハウスの消費電力や創エネ・蓄エネ状況のモニタリング、エアコン等の設備機器を制御できる「シミュレーターソフト」*1 を活用し、WEB 上に公開されている地図情報や気象情報、家庭内ロボット、センサー等と組み合わせることで、新たなアプリを開発するコンテストです。

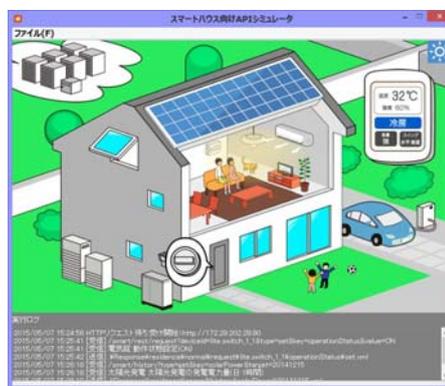
当社は、「家 CON-2015」で応募された提案を今後の自社 HEMS 等で活かすとともに、スマートハウスのデータや家電・設備機器制御機能を活用した新たなサービス創出に努めていきます。

※1. 特設サイトにて無償提供するもの。シミュレーターソフトにより、スマートメーターや家電・設備機器がなくてもアプリ開発が可能。

「家 CON-2015」 特設サイト <http://www.ux-xu.com/daiwa-api/>



【家 CON-2015 トップページ】



【スマートハウス向けシミュレーター】

■コンテスト審査概要

主 催	大和ハウス工業株式会社
協 力	i エネ コンソーシアム、Mashup Awards 運営委員会（株式会社リクルートホールディングス）
開発テーマ	スマートハウスを活用した新発想アプリ開発
募集内容	HEMS 重点 8 機器※を中心にスマートハウスから収集できる電力データや家電制御機能と、Web 上で公開されている地図情報や気象・災害情報等の API、インターネットに接続できる家庭用ロボット、センサー等を組み合わせ、既存の HEMS にない新たな発想のアプリケーションやサービスの提案 ※2011 年 12 月に経済産業省より推奨された日本国内での HEMS 構築のための標準通信規格である「ECHONET Lite（エコネット ライト）」に対応したスマートメーター、太陽光発電システム、蓄電池、燃料電池、EV/PHV 充放電器、エアコン、照明機器、給湯器の 8 機器。
アプリ要件	Web アプリ、iOS、Android、Windows アプリ
提供 API	大規模 HEMS 情報基盤整備事業で標準化を検討する HEMS データ利活用事業者向けの API および当社が提供する宅内機器制御用 API「住宅 API」
審 査 員	実行委員長 西村達志氏（大和ハウス工業株式会社代表取締役専務執行役員） 審査委員 梅嶋真樹氏（JSCA スマートハウス・ビル標準・事業促進検討会副座長） 小林茂氏（情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]教授） 小笠原治氏（株式会社 ABBA Lab 代表取締役） 青木俊介氏（ユカイ工学株式会社 代表） 宇佐見正士氏（KDDI 株式会社 技術開発本部長 理事） 加藤恭滋氏（大和ハウス工業株式会社 執行役員 情報システム部長）
応募方法	特設サイトからエントリーしてください。 http://www.ux-xu.com/daiwa-api/
応募期間	2015 年 5 月 18 日（月）～7 月 21 日（火）
審査結果発表	一次審査結果発表：8 月 10 日（月）（審査は関係者にて非公開で実施） 公開二次審査：10 月 24 日（土）15：00～18：00 大和ハウス工業株式会社東京本社会議室（公開で実施）
賞 金 等	優勝賞金：100 万円 部門賞：20 万円×3 名 副賞（一次審査通過者）：QUO カード 3 万円×10 名
そ の 他	日本最大級の Web 開発コンテスト「Mashup Awards11」と連携したイベント「アイデアソン」を 6 月 6 日（土）に実施します。詳しくは以下のサイトをご覧ください。 https://mashupawards.doorkeeper.jp/events/24770
お問い合わせ等	以下のフォームをご利用下さい。 https://www.daiwahouse.co.jp/eventHP/regist.asp?event_id=109536



【開発するアプリのイメージ】

●「大規模 HEMS 情報基盤整備事業」について

経済産業省が実施する、民間主導による HEMS 普及促進、一般家庭における経済性の高いエネルギーマネジメントの実現に向け、多数の HEMS を一元的にクラウド管理し、電力利用データの利活用の推進を行う事業です。

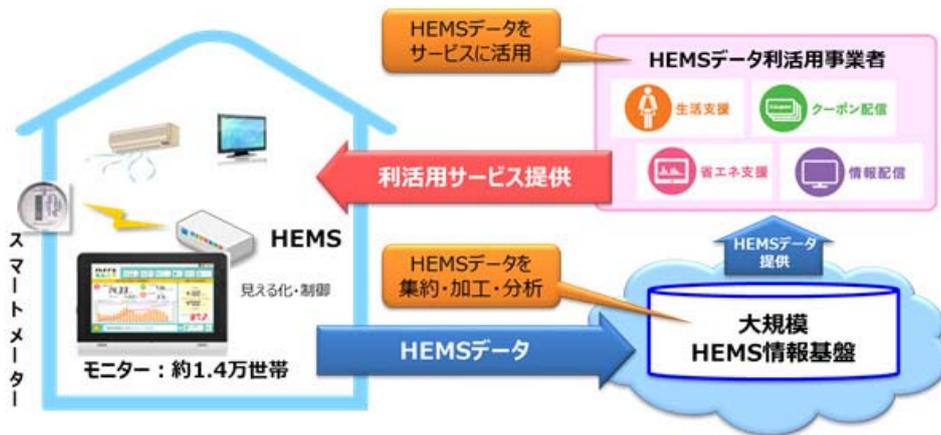
本事業に採択された「i エネ コンソーシアム」※2が、大規模 HEMS 情報基盤の構築とともに、全国約 1 万 4 千世帯への HEMS を導入。2015 年度は、収集したデータ等を活用した生活支援、クーポン配信、省エネ支援等の様々なサービス検証を実施します。詳しくは以下のニュースリリースをご確認ください。

<http://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2015/05/07/1103.html>

当社は幹事企業の 1 社である KDDI 株式会社 implements HEMS トライアル事業の一環として、三重県桑名市において開発中のスマートタウン「スマ・エコ タウン 陽だまりの丘」においてモニター家庭を募集し、「i エネ コンソーシアム」に参加する企業が提供する各種サービスの評価をいただき、サービスの実用化を検討します。また、構築した情報基盤を様々な HEMS データ活用事業者が利用できるよう、「API」※3の標準化を検討します。

※2. 2016 年度に予定される「電力の小売り全面自由化」に伴い、より良い電気の活用方法について考えるために、約 30 社の企業が参加、設立したコンソーシアム。東日本電信電話株式会社、KDDI 株式会社、ソフトバンク BB 株式会社、パナソニック株式会社の 4 社が幹事企業。

※3. データの利活用を行う命令。



【「大規模 HEMS 情報基盤整備事業」イメージ】



未来を、つなごう
We Build ECO

私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

以上

お問い合わせ先		
広報企画室	広報グループ	06-6342-1381
	東京広報グループ	03-5214-2112